



Press release

2018年7月18日

アクサ生命、宮城県と県民の健康づくりに関する連携協定を締結

アクサ生命保険株式会社(本社:東京都港区、代表執行役社長兼CEO:ニック・レーン)は、2018年7月18日、宮城県(知事:村井 嘉浩)と、県民の健康増進と地域社会の活性化に資するため相互に連携・協力することについて、協定を締結しました。

本協定は、宮城県と当社が、県の健康増進計画である「みやぎ21健康プラン」に基づく健康づくり施策の取り組みを連携・協力して行い、健康寿命の延伸及び生涯現役で安心して暮らせる社会の実現に資することを目的としています。本協定の締結により、当社が保険事業や健康経営[※]推進、企業の社会的責任活動などを通じて培った知見と人的ネットワークを宮城県の各種施策にお役立ていただき、県民の皆さまの健やかな生活と地域の発展のために共に取り組んでまいります。

(連携・協力事項)

上記の目的を達成するため、次に掲げる事項について連携・協力する。

- (1) 企業及び団体等における健康経営の推進に関すること
- (2) 健康づくりの推進及び生活習慣病の予防に関すること
- (3) 健康情報の発信や地域社会の活性化に関すること
- (4) その他、前条の目的を達成するために必要な事項に関すること

アクサ生命は、宮城県内において、1969年4月に古川商工会議所の生命共済制度、1970年10月に気仙沼商工会議所の特定退職金共済制度を受託するなど、事業者の皆さまの福利向上と地域の発展を目的に、商工会議所共済制度の推進をはじめとする地域に根差した活動を続けてまいりました。

また、近年では、県民の皆さまの健康増進や県内事業者の皆さまの健康経営の実践をサポートするために、地元メディアである河北新報社と連携した啓発活動などにも積極的に取り組んでいます。

さらに、2017年5月22日には全国健康保険協会宮城支部(協会けんぽ宮城支部)と連携に関する覚書も締結いたしました。

アクサ生命は、県民の皆さまの健やかで幸せな人生の良き「パートナー」を目指し、本協定の連携・協力事項に取り組んでまいります。

※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

アクサ生命について

アクサ生命は AXA のメンバーカンパニーとして 1994 年に設立されました。AXA が世界で培ってきた知識と経験を活かし、237 万の個人、2,200 の企業・団体のお客さまに、死亡保障や医療・がん保障、年金、資産形成などの幅広い商品を、多様な販売チャネルを通じてお届けしています。2017 年度には、2,500 億円の保険金や年金、給付金等をお支払いしています。また、「アクサ損害保険」と「アクサダイレクト生命」を連結する親会社として、子会社各社の経営管理・監督を行っています。

AXA グループについて

AXA は世界 62 ケ国で 16 万人の従業員を擁し、1 億 500 万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく 2017 年度通期の売上は 985 億ユーロ、アンダーライニング・アーニングス(基本利益)は 60 億ユーロ、2017 年 12 月 31 日時点における運用資産総額は 1 兆 4,390 億ユーロにのびります。AXA はユーロネクスト・パリのコンパートメント A に上場しており、AXA の米国預託株式は OTC QX プラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス(DJSI)や FTSE4GOOD などの国際的な主要 SRI インデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP FI)による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします:

アクサ生命保険株式会社 メディア&パブリックリレーションズ

電話: 03-6737-7140

FAX: 03-6737-5964

<http://www.axa.co.jp>